

平成27年度

(2015年度)

感染管理認定看護師教育課程

履修生募集要項

山口県立大学看護研修センター

目 次

I	山口県立大学看護研修センター認定看護師教育課程の概要	
1.	教育理念	1
2.	教育目的	1
3.	期待される能力	1
II	履修生募集の概要	
1.	募集分野・教育期間・募集人員	2
2.	出願資格	2
3.	出願手続	2
4.	出願書類	2
5.	出願上の注意事項	3
III	選抜方法等	
1.	入学試験等	4
2.	入学試験日時・会場	4
3.	注意事項	4
4.	合格発表	4
IV	入学手続等	
1.	入学手続期間	5
2.	入学手続について	5
3.	授業料	5
4.	その他の経費	5
V	入試情報の開示	6
VI	個人情報への取扱い	6
VII	入学前教育	6
VIII	入学後の単位認定及び修業期間等	6
1.	単位認定及び修業期間等	6
2.	資格の取得	6
IX	出願書類記入上の注意	7

I 山口県立大学看護研修センター感染管理認定看護師教育課程の概要

1. 教育理念

山口県立大学の基本理念は、「人間性の尊重」「生活者の視点の重視」「地域社会との共生」「国際化への対応」である。

本教育課程においては、感染管理分野において熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができる感染管理認定看護師を育成し、看護専門職の質の向上、地域保健医療の質の向上に資することを教育理念とする。

2. 教育目的

- (1) 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、専門的知識と高度な技術に基づいて医療関連感染の予防と管理を実践できる能力を育成する。
- (2) 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、医療関連感染の予防と管理について指導できる能力を育成する。
- (3) 医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの相談に対応し、問題解決に向けた支援ができる能力を育成する。

3. 期待される能力

施設の中心となって多職種と協働しながら、医療関連感染の予防と管理を推進するために以下の能力を身につけることができる。

- (1) 施設の状況を評価し、医療関連感染予防・管理システムを組織的かつ戦略的に構築するための計画を立案できる。
- (2) 医療関連感染予防・管理システムの運用、評価、改善を実践できる。
- (3) 施設の状況にあわせた医療関連感染サーベイランスを実践できる。
- (4) 医療関連感染の予防と管理に関する科学的根拠を評価し、医療を提供する場で実践されているケアの改善に活用できる。
- (5) 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、医療関連感染の予防と管理について指導できる。
- (6) 医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの相談に対応し、問題解決に向けた支援ができる。
- (7) 医療を提供する場で働くあらゆる人々からの相談に対応し、職業感染防止を推進できる。
- (8) 医療関連感染の予防と管理の視点からファシリティ・マネジメント (施設管理) を推進できる。
- (9) 関連組織と協働して、パンデミックや災害等の緊急事態を想定した準備と対応ができる。
- (10) 医療を提供する場で働くすべての人々及び患者とその家族に対し、倫理的配慮を行いながら医療関連感染の予防と管理が実践できる。
- (11) 上記 (1) ~ (10) を通して感染管理分野の役割モデルを示す。

II 履修生募集の概要

1. 募集分野・教育期間・募集人員

- (1) 募集分野：感染管理
- (2) 教育期間：平成27年8月18日（火）～平成28年2月26日（金）
- (3) 募集人員：30名

2. 出願資格

出願する者は、次の各項に定める要件をすべて満たしていること。

- (1) 高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者又は文部科学大臣の定めるところによりこれに準ずる学力があると認められた者
- (2) 日本国の看護師の免許を有し、実務経験を5年以上有する者
- (3) 通算3年以上の感染管理に関わる下記のような活動実績を有すること。

最新の知見や自施設のサーベイランスデータに基づいて、自身が中心となって実施したケアの改善実績を1例以上有すること。

※医療関連感染サーベイランス（血流感染、尿路感染、肺炎、手術部位感染）について計画から実施・評価まで担当した実績をひとつ以上有することが望ましい。

※出願時において、専任又は兼任として感染管理に関わる活動に携わっていることが望ましい。

3. 出願手続

- (1) 出願期間

平成26年12月9日（火）～平成27年1月13日（火） 17時まで（必着）

- (2) 出願方法

出願に当たっては、所定の出願書類一式に記入の上、本学所定の入学試験料納付証明書とともに願書受付期間中に簡易書留速達扱いで下記まで郵送してください。

窓口での受付は、9時から17時までです。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。

- (3) 出願先

〒753-0021 山口県山口市桜島6丁目2番1号

山口県立大学看護研修センター

TEL：083-933-1411（直通）

4. 出願書類

- (1) 本教育課程所定の用紙

[様式1] 入学願書

[様式2] 履歴書・感染管理分野の経験要約

[様式3] 勤務証明書

[様式4] 推薦書

[様式5] 志望理由書

[A 票] 受験票

[B 票] 入学試験料納付通知書

※同封の宛名票に合格通知の送付先を記入してください。

※受験票返信用封筒に 372 円分の切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。

※看護師の免許証の写し

※高等学校等の卒業証明書（改姓された方は戸籍抄本 1 通）

※写真 3 枚（上半身・無帽正面向き、3 か月以内撮影のもの 縦 4 cm×横 3 cm）履歴書・受験票 2 枚にそれぞれ貼付してください。

(2) 入学試験料

入学試験料：17,000 円（同封の振込依頼書を使用して金融機関から払い込んでください。）

5. 出願上の注意事項

(1) 出願書類は、当大学で受付後、返還・取消及び書類の記載事項の訂正は認めません。

ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、山口県立大学看護研修センター事務室まで連絡してください。

(2) 出願書類がすべて整っている場合に限り入学願書を受理し、受験票を志願者へ送付します。

(3) 受験票が入学試験日の 1 週間前になっても届かない場合又は試験日前に受験票を紛失したときは、山口県立大学看護研修センター事務室まで問い合わせてください。

(4) 出願書類は、必ず所定の様式を使用してください。

(5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、合格後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(6) 入学試験料の返還について

① 次に該当した場合は、納付済の入学試験料を返還します。

ア 入学試験料を納付済であるが、山口県立大学看護研修センター感染管理認定看護師教育課程に出願しなかった場合

イ 入学試験料を誤って二重に納付した場合

ウ 出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合

エ 出願受付後に「Ⅱ2. 出願資格」に該当しない等出願無資格者であることが判明した場合

② 返還請求方法

上記ア又はイに該当した場合は、山口県立大学看護研修センター事務室に連絡の上、82 円切手を貼付した返信用封筒を郵送してください。「入学試験料返還請求申出書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記ウ又はエに該当した場合は、出願書類返却の際に「入学試験料返還請求申出書」等を同封しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

Ⅲ 選抜方法等

1. 入学試験等

(1) 筆記試験

- ア 専門科目Ⅰ：感染管理認定看護師教育課程における学習に必要な基本的知識や学力を問う客観式の問題を出題する。
- イ 専門科目Ⅱ：感染管理に関する問題事例を看護の視点でアセスメントし、具体的に感染防止対策を立案、実施、評価できる力やそれらの記述内容の表現力を問う問題を出題する。
- ウ 小論文：論理性、文章力、表現力、思考力を問うことを意図した問題を出題する。

(2) 面接試験

個別面接試験を行う。

2. 入学試験日時・会場

試験日程：平成27年2月7日（土）、8日（日）

受付開始：9時00分～

オリエンテーション：平成27年2月7日（土）9時30分～

試験会場：山口県山口市桜島6丁目2番1号 山口県立大学5号館、6号館（案内図参照）

※ただし、志願者数の状況によっては一部変更することがある

試験科目	試験時間
専門科目Ⅰ・Ⅱ	2月7日（土）10：00～12：00
小論文	2月7日（土）13：00～14：30
面接試験	2月8日（日）9：00～18：00

3. 注意事項

- (1) 受験者は午前9時30分までに指定された試験室に入室してください。
- (2) 専門科目試験、小論文、面接のいずれかひとつでも受けなかった者は、受験を辞退したものとして取り扱います。
- (3) 受験票は常に携帯し、係員の請求があった場合は提示してください。
- (4) 当日受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票の交付を受けてください。
- (5) 試験時間中に使用するものは、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのもの）に限ります。
- (6) 携帯電話は、教室に入る前に電源を切っておいてください。
- (7) 昼食は各自で用意してください。昼食場所は、試験会場を利用できます。

4. 合格発表

平成27年3月3日（火）10時に本学6号館前特設掲示板に合格者受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

※情報提供の一環として、合格者発表後、合格者の受験番号を本学のWebページにも掲載します。（<http://www.ypu.jp/>）

IV 入学手続等

1. 入学手続期間

平成27年3月3日(火)～3月12日(木)(最終日は17時必着)

- (1) 郵送の場合は、最終日必着となりますので、郵送期間を十分考慮のうえ、書留速達扱いで発送してください。
- (2) 持参の場合の受付時間は、9時から17時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。
- (3) 所定の期間内に入学手続きを完了しない場合には、本学の入学を辞退したものと取り扱います。

2. 入学手続について

(1) 入学手続

合格者には、入学手続きに必要な書類を送付します。

合格者は、平成27年3月12日(木) 17時までに、持参又は郵送(必着)により入学手続きを完了してください。

(2) 入学料(入学手続時に納付)

- ① 山口県内の者 35,000円
- ② 上記以外の者 70,500円

(注) 山口県内の者とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ア 出願時に山口県内の医療・福祉施設に勤務している者
- イ 出願時に山口県内に住所を有する者

(注) 上記入学料は、平成26年度の額であり、入学料が改定になった場合は、改定後の金額となります。

(注) 一度受理した入学手続き書類ならびに入学料は、理由のいかんを問わず返還しません。

(3) 納付方法

入学料は指定金融機関へ振込依頼書にて納付してください。

3. 授業料

- (1) 授業料については下記のとおりです。4月中旬までに本人宛に納付書を送付しますので、平成27年4月27日(月)までに納めてください。

授業料：535,800円

(注) 上記授業料は、平成26年度の額であり、授業料が改定になった場合は、改定後の金額となります。

(注) 既納の授業料は、原則として返還しません。

(2) 納付方法

授業料は指定金融機関へ振込依頼書にて納付してください。

4. その他の経費

参考書籍代、演習・実習中の交通費・宿泊費、傷害保険加入料等は、別途必要となります。

V 入試情報の開示

本学の入学試験を受験した者は、入学試験に係る個人別成績を開示請求することができます。請求があれば、点数評価又は段階評価で成績を開示しますので、詳しくは、山口県立大学 Web ページ (<http://www.ypu.jp/>) をご覧いただくか、山口県立大学看護研修センター事務室にお問い合わせください。

VI 個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報については、「山口県個人情報保護条例」及び「公立大学法人山口県立大学が取り扱う個人情報の保護に関する規程」に基づき取り扱います。

出願時に大学が取得した氏名、住所その他の個人情報は、次の目的以外には利用しません。

1. 入学者選抜（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理等）、合格通知、入学手続案内、入学者選抜に係わる調査・研究等の入試事務及びこれに付随する業務
2. 入学に伴う教務事務（学籍、修学指導、健康管理、奨学金申請等）、授業料等の納付事務及びこれに付随する業務

VII 入学前教育

入学手続きを完了された方には、入学後の本学での授業を円滑に受講できるよう、指定した課題について、レポート等の提出をしていただきます。

VIII 入学後の単位認定及び修業期間等

1. 単位認定及び修業期間等

- (1) 履修期間は、平成27年8月18日（火）から平成28年2月26日（金）とします。
- (2) 修了の要件としては、所定の単位（時間数）をすべて修得し、出席日数がそれぞれの科目について履修すべき時間の5分の4以上であり、全教科を含む修了試験において8割以上の成績を修めなければなりません。
- (3) 教育課程では、土・日曜日に講義となることがあるので、必ず出席できるようにしておいてください。
- (4) 教育期間中の欠席は、忌引き、学校保健安全法で定められている感染症、公共交通機関の途絶又は遅延など、やむを得ない事由による公認欠席以外は、すべて欠席扱いとなります。

2. 資格の取得

所定の単位を修得すると、(社)日本看護協会が行う感染管理認定看護師認定審査の受験資格が得られます。さらに、学校教育法第105条の規定に基づく本学の履修証明書が交付されます。

IX 出願書類記入上の注意

1. 生年月日の年号は、すべて西暦で記入してください。
2. いずれも必要事項を漏れなく記入してください。
3. 枠内のスペースにおさまるように記入してください。
4. 複数枚必要な様式はコピーしてお使いください。
5. 推薦書については、書式にあわせてワープロで作成していただいても結構です。
それ以外の書類は、すべて自書してください。
6. 受験番号の欄

*

 は何も記入しないでください。
7. 申請書類の年齢については、平成27年(2015年)4月1日現在でご記入ください。

【記載の留意点】

申請書類	様式	記入方法と注意事項												
入学願書	様式1	<ul style="list-style-type: none"> ・電話番号は市外局番から記載してください。 												
履歴書・感染管理分野 の経験要約	様式2	<ul style="list-style-type: none"> ・性別は○印をつけてください。 ・所属機関名は正式名称を記載してください。(離職中の方は「離職中」と記載してください。) ・病床数は施設全体の数です。 ・写真は上半身・無帽正面向きで最近3か月以内に撮影したものを貼付してください。 ・履歴書、受験票ともに同じ写真を貼付してください。 ・保健師、助産師、看護師の欄は、該当欄に免許取得年月日、免許番号を記載してください。 ・学歴は、高等学校卒業からとし、それ以降の大学、専門学校などの入学、卒業を順次記載してください。進学課程の場合は、准看護師学校から記載してください。 ・「1 職歴」には看護師免許取得以降のものを順次記載してください。 ・特に所属の明記に関しては留意してください。 例) 循環器内科・外科混合病棟 など ・看護の実務経験年数(准看護師実務経験は含まない)は、休職(産休・育休・病休)期間中は除きます。なお、入学時に通算5年以上の実務経験が必要です。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">1 職歴 (所属施設名・所属・職位を含む)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 33%;">1998年4月～2003年3月</td> <td style="width: 33%;">5年0ヶ月</td> <td style="width: 33%;">所属施設名：〇〇病院 所属：看護部 職位：看護師</td> </tr> <tr> <td>2003年4月～2004年3月</td> <td>1年0ヶ月</td> <td>産休・育休のため休職</td> </tr> <tr> <td>2004年4月～ 2014年12月現在</td> <td>10年9ヶ月</td> <td>所属施設名：〇〇病院 所属：医療安全室 職位：主任看護師</td> </tr> </tbody> </table>	1 職歴 (所属施設名・所属・職位を含む)			1998年4月～2003年3月	5年0ヶ月	所属施設名：〇〇病院 所属：看護部 職位：看護師	2003年4月～2004年3月	1年0ヶ月	産休・育休のため休職	2004年4月～ 2014年12月現在	10年9ヶ月	所属施設名：〇〇病院 所属：医療安全室 職位：主任看護師
1 職歴 (所属施設名・所属・職位を含む)														
1998年4月～2003年3月	5年0ヶ月	所属施設名：〇〇病院 所属：看護部 職位：看護師												
2003年4月～2004年3月	1年0ヶ月	産休・育休のため休職												
2004年4月～ 2014年12月現在	10年9ヶ月	所属施設名：〇〇病院 所属：医療安全室 職位：主任看護師												

- ・「2 職歴(前記)における感染管理分野歴」には所属施設名・配置場所・感染管理内容がわかるように記載してください。
- ・感染管理分野の実務経験年数は、専任感染管理担当者、リンクナース、ICTメンバー、ICCメンバー、病棟における感染対策係、感染管理担当師長などを感染管理内容に記入してください。

2 職歴(前記)における感染管理分野歴 (所属施設名・配置場所・感染管理内容)		
1998年4月～2003年3月	5年0ヶ月	所属施設名：〇〇病院 配置場所：外科混合病棟 感染管理内容：リンクナース

- ・「3 感染管理分野における実務経験及び施設概要」は、以下の記載例を参照してください。

施設で実施しているサーベイランスの種類	(例；中心ライン関連血流感染サーベイランス、手術部位感染サーベイランス)
感染管理コンサルテーション担当部署	(例；感染制御部、ICTなど)
「医療安全対策加算」の有無 ※「無」の場合のみ、ICT配置の有無及びICTミーティングやラウンドの年間回数を記載する。	1. 医療安全対策加算：有・ <input type="radio"/> 無 2. 1が無の場合 ICTチーム： <input type="radio"/> 有・無 ミーティング：50回/年 ラウンド：25回/年
感染管理分野の認定看護師及び関連する認定看護師・専門看護師の人数と分野名称 ※上記該当がない場合のみ、受験申請者自身が感染管理分野の実務経験において主に指導を受けた人を記載する。	1. 感染管理認定看護師：有()名・ <input type="radio"/> 無 2. 感染症看護専門看護師：有()名・ <input type="radio"/> 無 3. いずれも「無」の場合 実務経験上の指導者：例) 専任の感染管理担当者、感染管理分野における経験5年以上を有する看護師長など

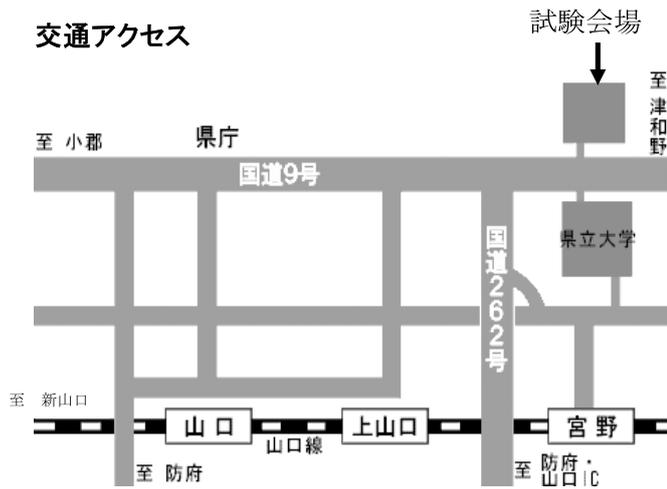
- ・「4 ケア改善実績事例要約」は、以下の記載例を参照してください。

ケア改善に取り組んだ期間	(例 2011年4月1日～2013年3月31日)
ケア改善に取り組んだ場所	(例 血液内科病棟)
改善事例の種類(該当する番号に○)	改定前に同じ 1 侵襲的医療器具・処置に関連した感染防止技術の改善(該当する項目に✓) <input checked="" type="checkbox"/> 血流感染防止 <input type="checkbox"/> 尿路感染防止 <input type="checkbox"/> 肺炎防止 <input type="checkbox"/> 手術部位感染防止 2 環境整備 3 針刺し防止 4 その他()

		<table border="1"> <tr> <td>改善前の状況</td> <td>(例 2008年に血流感染防止対策マニュアルを作成し、マキシマルバリアアプリケーションの導入を行いカテーテル挿入時の適切な感染防止対策の徹底を行なうとともに、NST チームと協働して中心ラインカテーテルの早期抜去に向けての介入を行なってきた。2010年4月1日から CLABSI サーベイランスを開始した。)</td> </tr> <tr> <td>問題点</td> <td>(例 血液内科病棟入院中の患者は、中心静脈カテーテルを長期に挿入している患者が多く、他の病棟に比べ感染率が高い傾向にあるが、調剤を病棟ナースセンターで行なっているが、統一した調剤マニュアルが作成されていない等・・・)</td> </tr> <tr> <td>改善の根拠</td> <td>(例 2002年に公表された「血管内カテーテルに関連する感染予防の CDC ガイドライン」では、所定の経静脈的投与ゆえ既成剤は全て、薬剤部において無菌操作を用いて層流フード内で混合することとある。我が国においては、国公立大学附属病院感染対策協議会が策定した「病院感染対策ガイドライン」において高カロリー輸液調剤への薬剤の混合は、可能な限り薬剤部で無菌環境下に行なうとある。)</td> </tr> <tr> <td>改善のための計画</td> <td>(例 薬剤部との協議を行い、中心ラインから用いる輸液調剤の薬剤部での作成、管理についての仕組みづくりを行なった・・・ また、病棟作成する場合の調剤マニュアルを作成し・・・等)</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>(例 2011年 4月1日～薬剤部での中心ライン用輸液調剤のための検討会を設置し、協議を開始。病棟で調剤する際の調剤マニュアル作成、周知のための指導の実施・・・ 2012年 4月1日～中心ラインから用いる輸液調剤の薬剤部での作成・管理体制の開始・・・)</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>(例 2012年4月より、緊急時以外の中心ライン用輸液調剤の調剤管理が実施できるようになった。サーベイランス結果からも2012年4月以降の CLABSI 発生率が〇〇%減少している。)</td> </tr> </table>	改善前の状況	(例 2008年に血流感染防止対策マニュアルを作成し、マキシマルバリアアプリケーションの導入を行いカテーテル挿入時の適切な感染防止対策の徹底を行なうとともに、NST チームと協働して中心ラインカテーテルの早期抜去に向けての介入を行なってきた。2010年4月1日から CLABSI サーベイランスを開始した。)	問題点	(例 血液内科病棟入院中の患者は、中心静脈カテーテルを長期に挿入している患者が多く、他の病棟に比べ感染率が高い傾向にあるが、調剤を病棟ナースセンターで行なっているが、統一した調剤マニュアルが作成されていない等・・・)	改善の根拠	(例 2002年に公表された「血管内カテーテルに関連する感染予防の CDC ガイドライン」では、所定の経静脈的投与ゆえ既成剤は全て、薬剤部において無菌操作を用いて層流フード内で混合することとある。我が国においては、国公立大学附属病院感染対策協議会が策定した「病院感染対策ガイドライン」において高カロリー輸液調剤への薬剤の混合は、可能な限り薬剤部で無菌環境下に行なうとある。)	改善のための計画	(例 薬剤部との協議を行い、中心ラインから用いる輸液調剤の薬剤部での作成、管理についての仕組みづくりを行なった・・・ また、病棟作成する場合の調剤マニュアルを作成し・・・等)	実施	(例 2011年 4月1日～薬剤部での中心ライン用輸液調剤のための検討会を設置し、協議を開始。病棟で調剤する際の調剤マニュアル作成、周知のための指導の実施・・・ 2012年 4月1日～中心ラインから用いる輸液調剤の薬剤部での作成・管理体制の開始・・・)	評価	(例 2012年4月より、緊急時以外の中心ライン用輸液調剤の調剤管理が実施できるようになった。サーベイランス結果からも2012年4月以降の CLABSI 発生率が〇〇%減少している。)
改善前の状況	(例 2008年に血流感染防止対策マニュアルを作成し、マキシマルバリアアプリケーションの導入を行いカテーテル挿入時の適切な感染防止対策の徹底を行なうとともに、NST チームと協働して中心ラインカテーテルの早期抜去に向けての介入を行なってきた。2010年4月1日から CLABSI サーベイランスを開始した。)													
問題点	(例 血液内科病棟入院中の患者は、中心静脈カテーテルを長期に挿入している患者が多く、他の病棟に比べ感染率が高い傾向にあるが、調剤を病棟ナースセンターで行なっているが、統一した調剤マニュアルが作成されていない等・・・)													
改善の根拠	(例 2002年に公表された「血管内カテーテルに関連する感染予防の CDC ガイドライン」では、所定の経静脈的投与ゆえ既成剤は全て、薬剤部において無菌操作を用いて層流フード内で混合することとある。我が国においては、国公立大学附属病院感染対策協議会が策定した「病院感染対策ガイドライン」において高カロリー輸液調剤への薬剤の混合は、可能な限り薬剤部で無菌環境下に行なうとある。)													
改善のための計画	(例 薬剤部との協議を行い、中心ラインから用いる輸液調剤の薬剤部での作成、管理についての仕組みづくりを行なった・・・ また、病棟作成する場合の調剤マニュアルを作成し・・・等)													
実施	(例 2011年 4月1日～薬剤部での中心ライン用輸液調剤のための検討会を設置し、協議を開始。病棟で調剤する際の調剤マニュアル作成、周知のための指導の実施・・・ 2012年 4月1日～中心ラインから用いる輸液調剤の薬剤部での作成・管理体制の開始・・・)													
評価	(例 2012年4月より、緊急時以外の中心ライン用輸液調剤の調剤管理が実施できるようになった。サーベイランス結果からも2012年4月以降の CLABSI 発生率が〇〇%減少している。)													
		<p>・「5 学会および研究会発表等の業績について（感染管理に関するもの）」は、発表年月日、学会名、演題名、口演・ポスターの別、共同演者・演者の別を順次記載してください。</p> <p>・【教育機関チェック欄】は記載しないでください。</p>												
勤務証明書	様式3	<ul style="list-style-type: none"> ・人事課（病院長名）あるいは看護部門の責任者が作成してください。 ・看護経験年数（准看護師実務経験は含まない）は、入学時に5年以上を有することがわかるように記載してください。なお、現在の施設だけで5年を満たさない場合は、前勤務施設の証明書も必要となります。 ・書類は、必要に応じて各自でコピーしてください。 												
推薦書	様式4	<ul style="list-style-type: none"> ・看護部門の責任者（看護部長等）が記入してください。 ・推薦者氏名は、自署してください。 ・ワープロでの記入の際は、看護研修センターホームページ (http://www.ypu.jp/library/kensyu/kyouikukatei.html) に掲載されている様式をご利用ください。 												

志望理由書	様式 5	・感染管理認定看護師教育課程を志望する理由を 800 字以内で述べてください。
受験票・入学試験料 銀行振込控え 〔A票〕受験票 〔B票〕入学試験料 納付通知書	A 票 B 票	A 票 ・氏名、フリガナ、所属施設名、所在地住所を記入してください。 ・氏名、フリガナは、自署してください。 ・受験番号は記入しないでください。 ・写真は、上半身・無帽正面向きで最近 3 か月以内に撮影したものを貼付してください。 ・履歴書、受験票ともに同じ写真を貼付してください。 B 票 ・氏名を自署し、入学試験料銀行振込控えを枠内に貼付してください。
※宛名票 2 枚 (合否通知送付用)	本学 所定	・募集要項とじ込みの宛名票に、本人の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
※返送用封筒 1 通 (受験票送付用)	本学 所定	・同封の受験票在中と書かれた封筒に 372 円分の切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。
※免許証の写し	各自 準備	・看護師免許証の写し (A4 サイズに縮小コピーしたもの)
※高等学校等の卒業 証明書	各自 準備	・高等学校等の卒業証明書 (改姓された方は戸籍抄本 1 通)

交通アクセス



●JRをご利用の場合

[九州方面、関西方面から]

新幹線 新山口駅で山口線に乗り換え、宮野駅
下車徒歩約 15 分

[益田方面から]

山口線宮野駅下車徒歩約 15 分

●車をご利用の場合

山口インターチェンジから国道 262 号で
山口方面へ

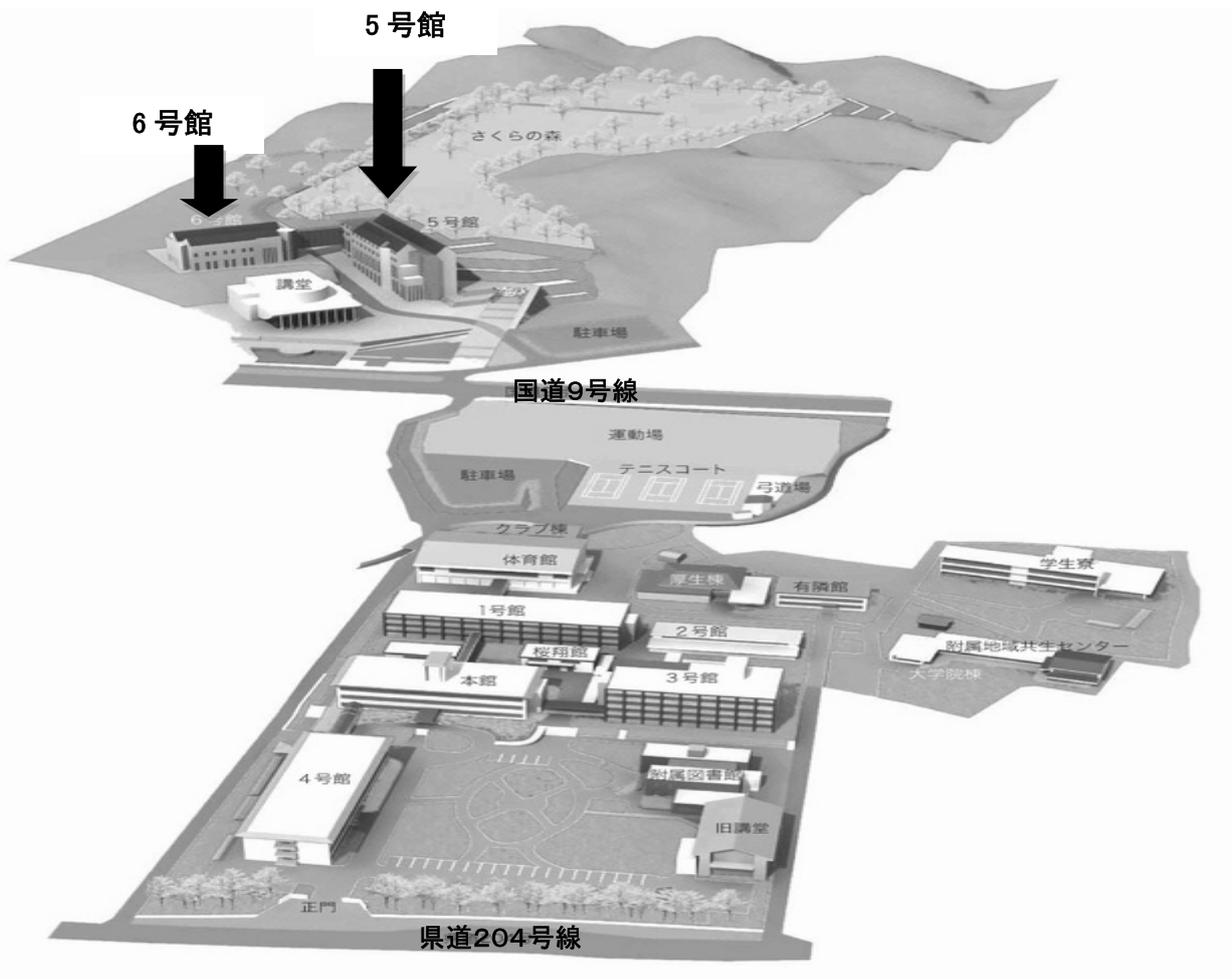
●飛行機をご利用の場合

山口宇部空港から車で約 80 分

もしくは JR 宇部線 新山口駅で山口線に乗り換え、宮野駅下車徒歩約 15 分

キャンパスマップ

試験会場はこちらの5号館、6号館です。



募集要項に関する問い合わせ先

山口県立大学看護研修センター

〒753-0021 山口県山口市桜島 6 丁目 2 番 1 号

TEL&FAX : 083-933-1411

電子メール ninteikango2@n.ypu.jp

Web ページ <http://www.ypu.jp/>